



# Oracle® Hyperion Smart View for Office

リリース 11.1.2.3.000

## Readme

**ORACLE**  
ENTERPRISE PERFORMANCE  
MANAGEMENT SYSTEM

### 目次

目的 .....	2
このリリースでの新機能 .....	2
インストール情報 .....	2
64 ビット Microsoft Office のインストールに関する情報 .....	6
サポートされているプラットフォーム .....	8
サポートされている言語 .....	8
サポートされているこのリリースへのパス .....	9
このリリースで修正された問題 .....	10
既知の問題 .....	14
ヒントとトラブルシューティング .....	25
ドキュメントの更新事項 .....	26
ドキュメントのフィードバック .....	28
アクセシビリティの考慮事項 .....	28

## 目的

このドキュメントには、このリリースの Oracle Hyperion Smart View for Office に関する重要な最新情報が記載されています。Oracle Enterprise Performance Management System および Smart View をインストールする前に、この Readme をよくお読みください。

## このリリースでの新機能

Oracle Hyperion Smart View for Office New Features を参照してください。

このリリースでのインストール、アーキテクチャおよび配置の変更内容に関する新機能については、Oracle Enterprise Performance Management System Readme のリリースの新機能に関する項を参照してください。

リリース 11.1.2.0、11.1.2.1、11.1.2.2、11.1.2.2.300 または 11.1.2.2.310 からアップグレードしている場合は、Cumulative Feature Overview ツールを使用して、これらのリリースの間に追加された新機能のリストを確認します。このツールによって、現在の製品、現在のリリース・バージョン、およびターゲット実装のリリース・バージョンを識別できます。このツールでは、1 回クリックするだけで、現在のリリースとターゲット・リリースの間に開発された製品機能の概要を必要に応じて組み合わせて生成することができます。このツールはこちらにあります:

<https://support.oracle.com/oip/faces/secure/km/DocumentDisplay.jspx?id=1092114.1>

## インストール情報

### サブトピック

- [My Oracle Support からのインストール](#)
- [EPM System での自動配置によるインストール](#)
- [EPM Workspace からのインストール](#)
- [ローカルまたは Web サーバーにインストールするヘルプのダウンロード](#)

EPM System 製品のインストールに関する最新情報は、Oracle Enterprise Performance Management System Installation and Configuration Readme を参照してください。EPM System 製品をインストールする前に、ここに記載された情報をよくお読みください。

## My Oracle Support からのインストール

▶ Smart View を My Oracle Support から直接インストールするには:

- 1 Smart View の zip ファイルを My Oracle Support からダウンロードします。
- 2 ファイルを解凍します。
- 3 SmartView.exe をダブルクリックして、インストール・ウィザードを開始します。

64 ビット・バージョンの Microsoft Office 2010 で Smart View を使用する場合は、SmartView-x64.exe をダブルクリックして開始します。

- 4 インストール・ウィザードで使用する言語を選択します。
- 5 「次へ」をクリックします。
- 6 ウィザードのプロンプトに従って操作します。
- 7 インストールが完了したら「終了」をクリックします。

次に Microsoft Excel、PowerPoint または Word を開いたときに Smart View が表示されます。

## EPM System での自動配置によるインストール

### サブトピック

- [サーバーの設定](#)
- [クライアントのインストール](#)

これらの手順は Smart View 11.1.2.x からアップグレードする場合のみに対応します。以前のバージョンの Smart View からアップグレードする場合は、該当リリースのドキュメントに記載されている自動配置の手順を使用します。

### サーバーの設定

▶ Smart View の自動配置のためにサーバー環境を設定するには:

- 1 データ・プロバイダの自動配置を次のように有効にします。
  - Oracle Essbase: 次の方法から選択します:
    - 管理サービス・コンソール(使用可能な場合)を使用します。
      1. プロバイダ・サーバーに接続し、「編集」、「プロパティ」、「クライアントの配置」を選択します。
      2. 「Smart View クライアントにアップグレードを強制」または「Smart View クライアントにアップグレードを警告」を選択します。
      3. 「Smart View クライアントをアップグレードに適用」チェック・ボックスを選択します。
      4. 「適用」をクリックします。
    - essbase.properties を次のように更新します:
      1. EPM\_ORACLE\_INSTANCE\bin\essbase.properties に移動します。
      2. 次のプロパティを設定します:

```
smartview.webservice.autodeploy.force=true
```

```
smartview.webservice.autodeploy.warn=true
```

- Oracle Hyperion Planning:
  1. 「管理」、「プロパティの管理」、「システム・プロパティ」を選択します。
  2. 次のプロパティを設定します:

```
SMART_VIEW_FORCE_INSTALL=true
```

```
SMART_VIEW_DISPLAY_WARNING=true
```

- Oracle Hyperion Financial Management: Financial Management の Web Server Configuration Utility for Smart View で、「クライアントにアップグレードを常に強制」を選択します。
  - Oracle Hyperion Reporting and Analysis: 自動配置は自動的に行われます。
- 2 Smart View の zip ファイルを My Oracle Support からダウンロードします。
  - 3 現在の SmartView.exe と version.xml のバックアップ・コピーを作成してから、置き換えるファイルを配置します。
  - 4 ダウンロードしたファイルを解凍します。
  - 5 SmartView.exe と version.xml を、Oracle Hyperion Enterprise Performance Management Workspace インストールの場所にコピーします。通常は、C:\Oracle\Middleware\EPMSysstem11R1\common\epmstatic\wspace\SmartView です。

## クライアントのインストール

▶ Smart View クライアントをインストールするには:

- 1 Smart View で「パネル」を選択します。
- 2 次のいずれかの方法でデータ・ソースに接続します:
  - 共有接続を介して
  - 次の URL でプライベート接続を介して:
    - Essbase: `http://<server>:19000/aps/SmartView`
    - Planning: `http://<server>:19000/HyperionPlanning/SmartView`
    - Financial Management: `http://<server>:19000/hfmofficeprovider/hfmofficeprovider.aspx`
    - Reporting and Analysis: `http://<server>:19000/raframework/browse/listxml`

**注:** Reporting and Analysis リリース 11.1.1.4 以前を使用している場合、Smart View の自動配置は機能しません(12870087)。

- 3 「使用可能な Smart View クライアントの新規バージョン」が表示されたら、「ここをクリックしてインストールしてください」をクリックします。
- 4 「ファイルのダウンロード」で「実行」を選択します。

- 5 Microsoft Excel のセキュリティ警告が表示されたら、「実行」をクリックします。
- 6 プロンプト表示されたらアップグレードを確認します; 「はい」をクリックします。
- 7 インストール・ウィザードが表示されます: 「次へ」をクリックします。
- 8 プロンプト表示されたら、開いているすべての Microsoft Office アプリケーションを閉じて、「OK」をクリックします。
- 9 インストール・ウィザードで「次へ」をクリックし、プロンプトに従って Smart View をインストールします。
- 10 Excel を開きます。
- 11 Smart View のリボンで、「ヘルプ」の横の矢印を選択し、「バージョン情報」を選択します。
- 12 新しいバージョンの Smart View を確認します。

## EPM Workspace からのインストール

▶ EPM Workspace から Smart View をインストールするには:

- 1 EPM Workspace で、「ツール」、「インストール」、「Smart View」を選択します。
- 2 インストール・ウィザードで使用する言語を選択します。
- 3 「次へ」をクリックします。
- 4 ウィザードで指示される手順に従って操作します。
- 5 インストールが完了したら「終了」をクリックします。

次に Microsoft Excel、PowerPoint または Word を開いたときに Smart View が表示されます。

## ローカルまたは Web サーバーにインストールするヘルプのダウンロード

Smart View のインストール後、Oracle.com Web サイトでホストされている URL からオンライン・ヘルプが取得されます。これは Smart View のデフォルト動作であり、ヘルプを起動するのにユーザーが変更を加える必要はありません。

ただし、ヘルプをローカルで、または組織の Web サーバーでインストールする必要があることがあります。Oracle.com 以外の場所からヘルプにアクセスする必要がある例をいくつか示します。

- アクセシビリティ第 508 条のために、ヘルプ・ファイルを個人のコンピュータのローカル・ドライブにインストールする必要がある場合。
- インターネットのアクセス制限。たとえば、ユーザーが組織のイントラネットの URL にしかアクセスできない場合。

このようなケースに対応するために、ヘルプの zip ファイルがリリース 11.1.2.3 のパッチとして My Oracle Support に用意されており、ダウンロードすることができます。

次の手順で、ヘルプの zip ファイルをダウンロードする方法を説明します。インストールおよび構成の詳細な手順は、次のガイドにあります：

- Oracle Hyperion Smart View for Office Accessibility Guide。ローカルでのヘルプのインストールと構成に関する項を参照してください。
- Oracle Hyperion Smart View for Office User's Guide、付録 B。ローカルまたは Web サーバーでのヘルプのインストールと構成に関する項を参照してください。

▶ Smart View のヘルプ zip ファイルを My Oracle Support からダウンロードするには：

1 My Oracle Support にログインします。

2 「パッチと更新版」タブを選択します。

「パッチ検索」領域が画面の右側に表示され、デフォルトで「検索」タブが選択されています。

3 「番号/名前またはバグ番号(簡易)」見出しの下で、ドロップダウン・リスト・ボックスの「パッチ名または番号」が選択されていることを確認します。

4 「パッチ検索」テキスト・ボックスに次の Smart View パッチ番号を入力します：

16596437

「パッチ検索」テキスト・ボックスは、「パッチ名または番号」ドロップダウン・リスト・ボックスの右側にあります。

5 「検索」をクリックします。

6 パッチ zip ファイルを一時ディレクトリにダウンロードします。

7 要件に応じてヘルプをインストールおよび構成するには、次のいずれかのガイドの指示に従います：

- Oracle Hyperion Smart View for Office Accessibility Guide。ローカルでのヘルプのインストールと構成に関する項を参照してください。
- Oracle Hyperion Smart View for Office User's Guide、付録 B。ローカルまたは Web サーバーでのヘルプのインストールと構成に関する項を参照してください。

## 64 ビット Microsoft Office のインストールに関する情報

このリリースでは、Smart View で 64 ビット・バージョンの Microsoft Office がサポートされます。64 ビット Office を使用する場合、次のことに留意してください：

- オラクル社では、64 ビットと 32 ビットの Office システム用に別々の Smart View インストール・ファイルを提供しています。
  - SmartView-x64.exe は、64 ビット Office インストール用のファイルです。
  - SmartView.exe は、32 ビット Office インストール用のファイルです。
- 64 ビット・バージョンの Smart View は、64 ビット・バージョンの Microsoft Office にのみ依存し、オペレーティング・システムのバージョンには依存しません。64 ビットのオペレーティング・システムと 32 ビット・バージョンの Microsoft Office を使用しているユーザーは、32 ビット・バージョンの Smart View をインストールする必要があります。
- 64 ビットのオペレーティング・システムでは Planning オフラインがサポートされますが、64 ビットの Smart View インストールではサポートされません。Planning オフラインを Smart View と組み合わせて使用する場合、32 ビット・バージョンの Smart View と 32 ビット・バージョンの Microsoft Office を使用する必要があります。
- 13530466 -- 64 ビット・バージョンの Smart View は EPM Workspace からインストールできません。  
**回避策:** My Oracle Support から SmartView-x64.exe をダウンロードしてユーザーに配布します。
- 13571266 -- Windows XP では、Oracle Hyperion Enterprise(R)の移行ユーティリティによるロードが失敗することがあります。  
**回避策:** Microsoft Web サイトから入手できる Microsoft Visual C++ 2010 再頒布可能パッケージ(x86)をインストールします。
- 13606492 -- 64 ビット・バージョンの Excel 2010 SP1 で、Smart View 関数が存在する場合や関数ビルダーを使用した場合に、Excel が異常終了することや、Smart View の「コピー」および「貼付け」機能が動作しないことがあります。これは Microsoft の問題であり、サービス・リクエストが Microsoft に報告されています。  
**回避策:** Microsoft によって修正されるまで、32 ビット・バージョンの Smart View を使用します。
- 14342207 -- Smart View の関数移行ユーティリティは 64 ビット Office ではサポートされていません。これは Microsoft の問題であり、サービス・リクエストが Microsoft に報告されています。  
**回避策:** Microsoft によって修正されるまで、32 ビット・バージョンの Smart View を使用します。
- 14770595 -- 64 ビット・バージョンの Smart View は Oracle Business Intelligence のホームページからインストールできません。  
**回避策:** My Oracle Support から SmartView-x64.exe をダウンロードしてユーザーに配布します。

## サポートされているプラットフォーム

EPM System 製品のシステム要件およびサポートされているプラットフォームに関する情報は、Oracle Enterprise Performance Management System Certification Matrix にスプレッドシート形式で提供されます。このマトリックスは、Oracle Technology Network (OTN)の「Oracle Fusion Middleware Supported System Configurations」ページに掲載されています:

<http://www.oracle.com/technetwork/middleware/ias/downloads/fusion-certification-100350.html>

**注:** Smart View 11.1.2.3 バージョンを使用するには Microsoft .NET Framework 4.0 以上が必要です。

### Smart View の拡張機能のサポート

16492773 -- Smart View の拡張機能を扱う場合は、11.1.2.3 バージョンの拡張機能を使用する必要があります。たとえば、Oracle Hyperion Strategic Finance 拡張機能を Smart View 11.1.2.3 で使用する場合は、拡張機能の 11.1.2.3 バージョンにアップグレードする必要があります。Smart View には、古いバージョンの拡張機能との互換性はありません。

### Oracle Business Intelligence Enterprise Edition のバージョンのサポート

Oracle BI EE に関連する機能を Smart View で使用するには、Oracle BI EE リリース 11.1.1.7 以上が必要です。

### Oracle BI EE の機能での Office のサポート

Smart View は、Oracle BI EE データ・ソースを操作する場合、次のバージョンの Microsoft Office をサポートします:

- 2007
- 2010 32 ビット
- 2010 64 ビット

## サポートされている言語

EPM System 製品のサポートされている言語に関する情報は、Oracle Enterprise Performance Management System Certification Matrix の「Translation Support」タブでスプレッドシート形式で提供されています。このマトリックスは、OTN の「Oracle Fusion Middleware Supported System Configurations」ページに掲載されています:

<http://www.oracle.com/technetwork/middleware/ias/downloads/fusion-certification-100350.html>

# サポートされているこのリリースへのパス

EPM System は、次のリリースからリリース 11.1.2.3 にアップグレードできます:

**注意:** アップグレードの手順は、Oracle Enterprise Performance Management System Installation and Configuration Guide の EPM System 製品のアップグレードに関する項を参照してください。

**表 1** サポートされているこのリリースへのパス

アップグレード・パスのリリース: 元	先
11.1.2.x	11.1.2.3
11.1.1.4.x	11.1.2.3
11.1.1.3.x	11.1.2.3
9.3.3.x	11.1.2.3
リリース 9.3.3.x よりも前のリリース	11.1.2.3

**注意:** リリース 9.2.0.3+、9.3.0.x、9.3.1.x (Essbase 9.3.1.4.1、9.3.1.5、9.3.1.6 および 9.3.1.7 以外) または 11.1.1.x から始める場合、まずリリース 11.1.1.3 にアップグレードした後で、メンテナンス・リリースを適用してリリース 11.1.1.4 にしてから、リリース 11.1.2.3 にアップグレードすることをお勧めします。前のリリースから開始する場合、開始するリリースからのアップグレードを直接サポートしている最高レベルのリリースにアップグレードすることをお勧めします。

Essbase と Oracle Hyperion Shared Services との間のセキュリティの同期は、Essbase リリース 9.3 (リリース 9.3.1.4.1 以降) で削除されました。ただし、Essbase および Oracle Hyperion Shared Services リリース 11.1.1.3 では、セキュリティ情報は同期されます。このため、Oracle Essbase リリース 9.3.1.4.1、9.3.1.5、9.3.1.6 または 9.3.1.7 を使用している場合、最初にすべての製品をリリース 9.3.3 にアップグレードしてから、リリース 11.1.2.2 にアップグレードし、その後でメンテナンス・リリースを適用してリリース 11.1.2.3 にしてください。

# このリリースで修正された問題

## サブトピック

- [全般](#)
- [Disclosure Management](#)
- [Essbase](#)
- [Financial Management](#)
- [Financial Reporting](#)
- [Oracle BI EE](#)
- [Planning](#)
- [Reporting and Analysis](#)
- [Strategic Finance](#)

この項では、リリース 11.1.2.3.000 で修正された問題について説明します。以前のリリースにおいて修正された問題のリストを確認するには、Defects Fixed Finder を使用します。このツールでは、所有している製品と現在の実装リリースを指定できます。このツールでは、1 回クリックするだけで、修正された問題の説明や関連するプラットフォームとパッチ番号を必要に応じて組み合わせたレポートが生成されます。このツールはこちらにあります:

<https://support.oracle.com/oip/faces/secure/km/DocumentDisplay.jspx?id=1292603.1>

## 全般

- 11793797 -- Word の「Document Contents」の削除機能が動作しません。
- 13567557、14270083 -- 大きなワークブックで、リフレッシュの時間が以前のバージョンよりも長くかかることがあります。
- 14343188 -- ドキュメントにヘッダーとフッターがある場合、一部の関数グリッドで自動配置が失敗します。
- 15990732 -- 空のユーザー名とパスワードの文字列が HypConnect 関数に渡されると、ユーザー名とパスワードの入力を求めるかわりにエラーが発生します。ユーザーがシングル・サインオン資格証明を使用してシステムにすでにサインオンしている場合でもエラーが発生します。
- 16020511 -- 行数または列数が 1 のアド・ホック・グリッドが Excel から Word に貼り付けられた後で、Word の「Documents Contents」ペインからグリッドを削除するとエラーが発生します。少なくとも 2 つの行と 2 つの列を含むグリッドはエラーなしで削除されます。
- 16225354 -- デフォルト・ブラウザが Internet Explorer の場合、ドリルスルーが失敗します。
- 16232788 -- ドリルスルー・セルをクリックした後で、ユーザーがターゲット・アプリケーションにログインする必要があります。
- 16364785 -- 複数のグリッドが有効になっているシートのデータを取得するときに、不明な例外エラーが発生します。
- 16366454 -- スマート・リストを含むデータ・フォームを操作しているときに、スマート・リストの値を発行した後で「選択項目のみ保持」を実行してから

「元に戻す」を実行すると、一部のスマート・リスト値が正しく表示されません。

## Disclosure Management

- 14275300 -- Oracle Hyperion Financial Reporting レポートに設定されている列の幅と行の高さは、Smart View にインポートされると、Oracle Hyperion Disclosure Management では維持されません。

## Essbase

- 14001763 -- データ値を編集してグリッドの外部でセルを編集すると、誤った警告メッセージが表示されます: Excel シートのデータ・セルが変更されています。続行する前に変更したデータ・セルを送信しますか?このメッセージで「はい」をクリックし、「リフレッシュ」を実行すると、古い値がシートに戻されます。
- 14688828 -- 「カスケード」は、POV に次元が 1 つしかない場合には機能しません。
- 14756784 -- セル範囲の日付フィールドの間に空白行が存在する場合、行のコピーと貼付けを行うとき、または範囲内のセルを送信するときに、正しい結果になりません。
- 16017903 -- Smart View パネルから「メンバー選択」ダイアログ・ボックスを起動すると、保護されているセルまたはシートがなくても、「変更しようとしているセルまたはチャートは保護されているため、読取り専用です。」というエラーが発生します。
- 16027924 -- 別名を変更した後で、以前固定されていた POV ツールバーの固定が解除されます。

## Financial Management

- 14074533 -- 2 回目の「リフレッシュ」の後で、スマート・スライスデータのかわりにセル・テキストが表示されます。
- 16210776 -- メンバー・リストに 100 を超えるメンバーが存在する場合、フィルタを正しく適用できません。  
リリース 11.1.2.3 以降の Smart View では、メンバー・リスト内で最大 500 のメンバーのフィルタ処理がサポートされます。
- 15903590 -- Smart View 11.1.2.2.300 では、フォームの最初の列に以前の期間 (@Cur-1) が含まれるとき、現在の期間 (@Cur) を参照する列は、データが送信されると自動的に変化します。

## Financial Reporting

- 14788220 -- Word では、一部のレポート・イメージがドキュメントに正しく挿入されません。

## Oracle BI EE

- 14238189 -- 系列のデータ・サイズが 8192 文字を超えると、グラフを挿入するときに例外が生成されます。この場合、結果のデータ・セットが Office のグラフ・サイズ制限を超えるため、グラフが正しく表示されません。
- 14458848 -- 双方向(BiDi)言語バージョンの Smart View で、「プロンプト・セレクト」ダイアログ・ボックスのテキストが BiDi 形式(右から左)ではなく左から右に表示されます。
- 14826073 -- Oracle BI EE のビューやフォルダの作成、変更およびアクセスの日付にロケールの変更が反映されずに、mm/dd/yyyy フォーマットで表示されることがあります。
- 14469040 -- チャート(グラフ)でデータ・フォーマットが正しく表示されません。ただし、データ値は正しく表示されます。
- 14672455 -- Windows マシンのメモリー制限のためにグラフ作成が失敗することがあります。
- 14685678 -- 列に対してダブル列のプロンプトが定義されているときに、ユーザーがプロンプトを編集しようとする、エラーが発生することがあります。ダブル列(Oracle BI EE で構成可能)では、列データは、コード列がマップされている表示列を含みます。
- 14761830 -- 行または列を挿入した後で、View Designer を使用してピボット・テーブルが作成される前にリフレッシュすると例外が発生します。
- 14782104 -- PowerPoint に「すべてリフレッシュ」はありません。リフレッシュできるのは、個別のビューまたは 1 つのスライドのすべてのビューです。ただし、1 つの操作でプレゼンテーション内のすべてのビューをリフレッシュすることはできません。
- 14794872 -- 「リフレッシュ」オプションが「ビューの置換」に設定されているとき、PowerPoint では、セクションを表すテーブルがリフレッシュ時に重なることがあります。
- 15886902 -- Word 2007 では、複合ビューを挿入するときにグラフ・オブジェクトが重なることがあります。
- 15896037 -- Oracle BI EE ダッシュボードのコンテンツを Word 2007 にコピーして貼り付けるとき、テーブルに続いて 1 つ以上のチャートがあるコンテンツの場合、Word が異常終了することがあります。
- 15931324 -- 「プロンプトの編集」または「ページ・プロンプトの編集」を起動するとき、選択されているグラフのみが影響を受けます。
- 15932113 -- Excel では、表形式ビューに複数のセクションが含まれるとき、リフレッシュ時にセクション・テーブルのデータが重なることがあります。
- 15932298 -- マルチバイト環境では、複合ビューを挿入するときにテーブル・オブジェクトやグラフ・オブジェクトが重なることがあります。
- 15958725 -- Oracle Business Intelligence Answers のレポート・コンテンツをコピーし、Smart View の「貼付け」オプションを使用して Word に貼り付けると、Word が応答しなくなります。

- 15961118 -- 挿入されている Excel ピボット・テーブルを連続してリフレッシュするときに、「リフレッシュ・オプション」のリフレッシュ・モードを毎回変更すると(つまり、「データのリフレッシュ」から「ビューの置換」に変更し、「データのリフレッシュ」に戻すと)、正しくない「ビューの置換」メッセージが表示されます。
- 16032052 -- Oracle BI EE サーバーで表形式ビューからすべての列プロンプトが削除されると、Smart View でビューのリフレッシュまたは置換を試行するときにエラーが発生します。
- 16218081 -- BI Answers からコピーされて Smart View に貼り付けられるコンテンツが、Smart View で次の「コピー」および「貼付け」操作を行っても、クリップボードからクリアされません。以前にコピーされた BI Answers コンテンツが、新たにコピーされる Smart View コンテンツと一緒に貼り付けられます。

## Planning

- 14361743 -- Planning フォームで「分散値」として「4-5-4」を選択すると「38082」が表示されます。
- 14367639 -- Planning アプリケーションの Web フォームで更新されたスマート・リスト値は、Smart View で保存された Planning データ・フォームを開いて、更新された Planning アプリケーションに接続しても反映されません。
- 15857523、15857542 -- Planning フォームでアド・ホックを実行するとき、任意のセルまたは列をクリックしてから「メンバー選択」をクリックすると、「次元を解決できません」というエラーが発生します。
- 15884283 -- 選択できるプロパティの 1 つとして #MISSING ラベルが設定されているスマート・リストで、Planning Web フォームではユーザーが #MISSING 値を選択できますが、Smart View では選択できません。
- 15891772 -- Smart View でビジネス・ルールを実行しているときに、「メンバー選択」ダイアログ・ボックスでメンバーを選択しようとする、「メンバー選択の XML 形式が正しくないため、ダイアログを初期化できません。」エラーが発生します。
- 15931209、16185078 -- ユーザーが、Smart View パネルの「フォームを開く」右クリック・コマンドを使用して、複数の Web フォームまたはデータ・フォームを開くことができません。

## Reporting and Analysis

- 13704460 -- Financial Reporting レポートを Microsoft Word にインポートしようとする、エラーが発生することがあります。
- 13852842 -- Smart View を使用して Excel にインポートされた Reporting and Analysis (BQY)ドキュメントを編集しようとする、「例外がスローされました: AUTHEN\_CSSLoginFailed」というエラーが発生します。
- 15834207 -- リリース 11.1.2.1 以前の Smart View で保存されていたレポートを扱うときに、テーブルを更新できず、メンバーのズーム・インとズーム・アウトを行うことができません。

## Strategic Finance

- 14110329 -- 「このワークシートのアクティブ接続の設定」オプションが Strategic Finance の接続で選択可能になりますが、選択しないでください。この機能は拡張機能での使用を対象にしていなため、シートでの後続の操作が動作しなくなる可能性があります。

## 既知の問題

### サブトピック

- [インストール](#)
- [全般](#)
- [Disclosure Management](#)
- [Essbase](#)
- [Financial Management](#)
- [Financial Reporting](#)
- [Hyperion Enterprise](#)
- [Oracle BI EE](#)
- [Planning](#)
- [Reporting and Analysis](#)
- [Strategic Finance](#)

このリリースで注意が必要な既知の問題は次のとおりです。

## インストール

- 6576419 -- Windows Vista にインストールする際、インストールの開始時に本来行われるはずの管理者権限の要求が行われません。インストールの途中で必要な権限がないことを示すエラー・メッセージが表示されます。

**回避策:** Windows エクスプローラーで SmartView.exe を右クリックし、「管理者として実行」を選択します。これにより、管理者ログイン情報を求めるプロンプトが表示されます。

- 9798801、8839088、7634745 -- このバージョンの Smart View をアンインストールしてから前のバージョンの Smart View をインストールしないでください。このようにする必要がある場合は、レジストリ・キー HKEY\_CURRENT\_USER \Software\Microsoft\Office\Outlook\Addins\Hyperion.CommonAddin を削除してください。
- 14233719 -- Smart View PSE からこのリリースにアップグレードしている場合、まず PSE リリースをアンインストールしてからこのリリースをインストールすることをお勧めします。

## 全般

- 7408376 -- スマート・スライスの作成時に「スマート・スライスのオプション」ダイアログ・ボックスで指定した、欠落データの置換ラベルおよびその

他のプリファレンスは、そのスマート・スライスに基づく関数グリッドには適用されません。かわりに、Smart View ユーザーによって「オプション」ダイアログ・ボックスで指定されたオプションが関数グリッドに適用されます。

- 7432260 -- テーブル・レポートの列をサイズ変更できません。

**回避策:** これは通常の動作です。列のサイズ変更を使用可能にするには、次のように操作します:

1. グリッドにテーブルを挿入してリフレッシュします。
2. Excel のデザイン・モードに切り替えます(Excel の「開発」リボンまたは Visual Basic ツールバーから)。
3. テーブルを右クリックして、「Microsoft Office Spreadsheet 11.0 Object」、「Command and Options」を選択します。
4. 「Properties」ダイアログ・ボックスの「Protection」タブを選択し、「Resize Columns」を選択します。
5. 「Sheet」タブを選択し、「Column Header」を選択します。
6. 「OK」をクリックします。

- 7447990 -- EPM Workspace とは異なり、Smart View パネルには、非表示のファイルまたは名前の重複があるファイルが表示されません。このため、Workspace と Smart View 間でファイル数が異なります。

- 8312407 -- 前回は Excel 2007 で.xlsx ファイルとして保存されたワークブックを Excel 2003 で開くと、エラー・メッセージが表示されることがあります。これは Microsoft の問題です。

**回避策:** Excel 2007 で拡張子.xls を使用してファイルを保存すると、Excel 2003 で正常に開くことができます。

- 9083246 -- Excel を閉じようとする、異常終了する可能性があります。これは Microsoft の問題です。Excel を閉じる前に作業を保存するようにしてください。
- 9315130 -- Office 2007 用の Microsoft セキュリティ更新プログラム KB969604 を使用すると、Word 内の Smart View 機能が破損します。この問題の修正方法の詳細は、Microsoft のドキュメントを参照してください。
- 9691355 -- レポート・オブジェクトを含むワークシートをレポート・デザイナーから削除すると、Excel が異常終了することがあります。これは Microsoft の問題です。
- 11068363 -- Crystal Ball の場合、一度の試行で Workspace サーバーにログインできない場合があります。
- 11659670 -- Smart View のアラビア語およびヘブライ語バージョンのインターフェースには、レイアウト、配置およびその他の表示の問題があります。
- 11934177 -- Excel の移行オプションが有効な場合、コピー/貼付けやオートメーション API コールなどの多くの Excel 関数が機能しません。これは Microsoft の制限です。
- 12569072 -- Smart View のインストール後に Excel マクロが動作しないことがあります。

**回避策:** Smart View リボンから「オプション」、「詳細」の順に選択して、「向上したメタデータ・ストレージ」オプションを選択します。

- 13987451 -- 大きいワークブックの場合に、「リソースが十分ではありません」というエラーが発生する可能性があります。

**回避策:** ワークブックを分割して小さいワークブックにしてください。

- 14401306, 14401320 -- リリース 11.1.2.2 以前で作成されたレポートは、移行、変換または挿入を正しく行うことができません。

**回避策:** このようなレポートを移行して使用するには、owc11.d11 ファイルをインストールする必要があります。Microsoft Web サイトにアクセスし、owc11.d11 をダウンロードしてインストールします。

- 14402151 -- Smart View がインストールされると、大きいワークブックを開くためにかかる時間が非常に長くなることがあります。
- 14494179 -- ズーム・インを実行した後にズーム・アウトすると、ワークシートに空白行が表示されることがあります。

**回避策:** これは Smart View 固有の問題ではありません。余分なフォーマット設定が Excel で削除されないことに関係している可能性があります。次に示す Microsoft の回避策を試してみてください:

- [Excel で最後のセルをリセットする方法](#)

- [Microsoft Excel Excess Formatting Cleaner Add-in](#) のダウンロードと使用

- 14648478 -- Smart View インストーラでは、双方向(BiDi)言語が完全にはサポートされていません。このために、テキストやアイコンの重なりや配置が正しくないといったフォーマット・エラーがインストーラの画面で発生することがあります。ただし、インストーラを使用することはできます。インストールされた Smart View 製品では BiDi 言語が正しく表示されます。
- 14506528 -- Oracle Hyperion Smart View for Office User's Guide の XML ファイルからの共有接続へのアクセスに関する項で説明するように、共有接続のために XML ファイルを使用している場合、XML ファイルでは ASCII 文字しかサポートされないことに注意してください。このファイルに作成するエントリでは、ASCII 以外の文字を使用しないでください。
- 14851501 -- Smart View が有効になっていると、キーボード・コマンド[Ctrl]+[C]や[Ctrl]+[V]を使用して Excel ワークシート間でセルのコピーと貼付けを行うことができません。

**回避策:** Smart View リボンから「オプション」、「詳細」の順に選択して、「向上したメタデータ・ストレージ」オプションを選択します。

- 14456134 -- Excel のオプション「Dynamic Data Exchange (DDE)を使用する他のアプリケーションを無視する」が選択されると、様々な問題が発生することがあります。たとえば、問題が発生するのは、Excel を起動するとき、Excel 外部から Excel ファイルを起動するとき、また Firefox 17.x で「クエリー準備モードでエクスポート」オプションを使用して Financial Reporting から残高をエクスポートするときです。

**回避策:** 「Microsoft Office」ボタン(Excel の左上)をクリックし、「Excel のオプション」をクリックします。「詳細設定」カテゴリで「全般」オプションまで

スクロール・ダウンし、「Dynamic Data Exchange (DDE)を使用する他のアプリケーションを無視する」チェック・ボックスを選択解除します。Excel を再起動します。

- 15993607 -- シングル・サインオン環境でユーザー資格証明を指定した後、次のエラー・メッセージが少しの間表示されます。

```
Server Error - 405 - HTTP verb used to access this page is not allowed
The page you are looking for cannot be displayed because an invalid method
(HTTP verb) was used to attempt access
```

その後、ユーザーは正常に Smart View にサイン・インできます。

- 16180415-- Oracle Fusion General Ledger アプリケーションにログインしていないと、このアプリケーションへのドリルスルーが失敗します。Smart View でドリルスルー操作を実行する前にアプリケーションにログインしてください。

## Disclosure Management

- 14275486 -- Oracle Hyperion Disclosure Management ドックレットがマスター・ドキュメントに結合されると、テーブルの自動配置フォーマットが消失することがあります。

## Essbase

- 11841013 --スマート・リストのメンバーを変更できない場合があります。
- 12884154 -- Essbase のリボンから「ピボット」を選択して行メンバーをピボットすると、そのメンバーはかわりに POV ツールバーに移動されます。
- 12890030 -- 別名テーブルを変更する場合、POV ツールバーからグリッドにドラッグしたメンバーは失われることがあります。
- 12879435 -- クエリー・デザイナーで、グリッドのメンバー名が名前ではなく別名で表示されることがあります。ただし、名前に一貫性がなくても、クエリーは適切に実行されます。
- 12913962 -- 「アクティブ接続の設定」を使用してアド・ホック・ワークシートに接続を関連付けると、リフレッシュ時にメンバーがワークシートから消失することがあります。

**回避策:** 接続を関連付けるかわりに、ワークシートに対して直接アド・ホック分析を実行します。

- 13516151 -- 複数の次元を含む列の一番上の次元にズーム・インすると、子の中間に空白列が表示されます。これは、「オプション」ダイアログ・ボックスの「メンバー・オプション」ページで「アドホック操作の式とコメントを保存」を選択した場合に発生します。

**回避策:** 「アドホック操作の式とコメントを保存」を選択しないでください。

- 13729593 -- Firefox 9.x または 10.x を使用している場合、Smart View からドリルスルーを行うと、Oracle Hyperion Financial Data Quality Management Enterprise Edition あのランディング・ページにデータが表示されないことがあります。

**回避策:** Firefox の「アドオン」メニューに移動して、Smart View 拡張機能が有効になっていることを確認します。

- 14470264 -- HsGetVariable 関数では ASCII 以外の変数値はサポートされません。
- 15927555 -- 「すべて切断」コマンドによって、開いているすべての接続が切断されません。
- 16298148 -- 行に含まれるメンバーが不明な場合、検索が終了するまでに非常に長い時間がかかります。
- 16480689 -- 「ズーム・イン」操作が列全体に実行されると、Essbase エラーが発生します。(Excel で、A、B、C などが表示されている列のヘッダー部分をクリックすると、列全体が選択されます。)

**回避策:** 列の実際のセル範囲を選択してから、「ズーム・イン」を実行します。

## Financial Management

- 7608591 -- ドイツ語のオペレーティング・システムで、「セル・テキスト」フィールドに入力された数値に複数のゼロが誤って添付されます。たとえば、15 が 1500000 になる場合があります。この問題を回避するには、「セル・テキスト」フィールドに入力する数値の前に一重引用符を付けます(例: '15)。

- 9382988 -- 「フィールドのカスタマイズ」ダイアログ・ボックスで、ショートカット・キーが機能しません。

**回避策:** このダイアログ・ボックス内のフィールド間で移動するには、[Tab] キーを使用します。

- 13524210 -- VBA 関数の HypGetMembers によって、メンバー名と説明の両方が戻されますが、説明のみが戻される必要があります。
- 14822441、15959703 -- Web フォームに定義されているセルの色は、フォームが Smart View で開かれると保持されません。
- 16199752 -- Financial Management プロバイダに接続したとき、「操作時にフォーマットを移動」オプション(「オプション」ダイアログ・ボックス、「フォーマット」タブ)が有効になっていると、「選択項目のみ保持」や「選択項目のみ削除」などの操作が失敗します。
- 16319892 -- Web フォームを開いて特定のエンティティ・タイプを選択してから、別の Web フォームを開いたとき、Web フォームを切り替えるとエンティティの POV が[なし]メンバーにリセットされます。
- 16451623 -- 現在の交差部のデータが#Invalid の場合、リフレッシュ時にチャートのデータが正しく更新されません。

**回避策:** 別のデータが表示される有効なデータ・ポイントにスライダまたは POV を変更してから、「リフレッシュ」を実行します。チャートが正常に更新されます。

- 16451759 -- チャートのコピーと貼付けを正常に行うことができません。27 ページの「チャートのコピーと貼付けに関するサポートの制限」も参照してください。

## Financial Reporting

- 14643318 -- データ・ソース接続がタイムアウトしたとき、以前に保存した関数グリッドを含むレポートをリフレッシュしようとする、ログイン中に「無効なポインタ」エラーが発生します。  
**回避策:** ワークブックと Excel を閉じます。その後、Excel を再起動してワークブックを開き、リフレッシュを実行します。
- 14600472 -- インポートされたクエリー対応レポートで、リフレッシュ後に一部のライン・アイテムが変化することがあります。
- 16589367 -- Oracle Access Management 環境で Smart View の Financial Reporting 拡張機能を使用するとき、関数グリッドまたは Office テーブルをインポートすると接続エラーが発生します。
- 16590232 -- リリース 11.1.2.2 からリリース 11.1.2.3 にアップグレードした後、一部の Financial Reporting レポートが 1 回目の操作でインポートできなくなります。すべての Financial Reporting レポートでこの問題が発生するわけではありません。この問題が発生したレポートも、2 回目以降の操作では正常にインポートされます。

## Hyperion Enterprise

- 13571266 -- Windows XP では、Oracle Hyperion Enterprise(R)の移行ユーティリティによるロードが失敗することがあります。  
**回避策:** Microsoft Web サイトから入手できる Microsoft Visual C++ 2010 再頒布可能パッケージ(x86)をインストールします。

## Oracle BI EE

- 14342299、14507281 -- 複数の Oracle BI EE 接続が同時に開いているとき、エラーが発生することがあります。  
Oracle BI EE プロバイダに対して一度に 1 つの接続しかサポートされません。2 つ目の Oracle BI EE プロバイダに接続しようとする、2 番目の接続のコンテンツがカタログに正しく表示されません。  
**回避策:** すべての Oracle BI EE 接続を切断し、一度に 1 つの接続のみを保持します。
- 14345387 -- Smart View では、階段状および曲線のチャートを直接挿入することはできません。階段状または曲線のチャートを挿入すると、Smart View によって、形状が最も似ているデフォルトの折れ線チャートに置き換えられます。これは予期される動作です。
- 14355587 -- BI Answers でプロンプト用に指定された選択リスト(ラジオ・ボタン・リストおよびチェック・ボックス・リスト)は、Smart View のリスト・コントロールに変換されます。これは予期される動作です。
- 14563557 -- BI Answers の統一スケールの使用オプションを選択または選択解除するには、Smart View でリフレッシュを行うときに「ビューの置換」オプションを使用する必要があります。これは予期される動作です。

リフレッシュのプリファレンスを設定する方法は、Oracle Hyperion Smart View for Office User's Guide の Smart View と Oracle BI EE の章で、ビューのリフレッシュのプリファレンス指定に関する項を参照してください。

- 14580332 -- Oracle BI EE の勘定科目プリファレンスで設定されているタイム・ゾーン・プリファレンスは、Smart View では公開されません。
- 14583775 -- ダブル列が BI Answers で設定されたときに、「ユーザーがコード列で選択可能」オプションが選択されていると、Smart View ではコード列値に基づくダブル列のプロンプト値は表示されません。
- 14594347、14594221 -- 「Excel テーブルとして挿入」または「Excel ピボット・テーブルとして挿入」を実行するとき、列が Smart View でレンダリングされる順序は、BI Answers のデザイン・モードで指定された順序と一致しないことがあります。
- 14600296 -- プロンプト・セクタで、ドロップダウン・リストまたはオプション・リストに表示できるアイテム数は 256 までという制限があります。

**回避策:** BI Answers で instance.config の Prompts/MaxDropDownValues の設定値を増やします。

- 14685723 -- ダブル列のプロンプトに対応するテキスト・ボックスに無効な値が入力されると、例外が発生します。
- 14689283 -- ビュー・デザイナーでは、エッジ内でメンバー・リストの一番上に階層メンバーが配置されたビューを作成できません。たとえば、Sample Sales データベースを使用するとき、Row エッジに Time Hierarchy を配置し、その下に D3 Organization メンバーを配置することはできません。
- 14690536 -- ビュー・デザイナーで、インタフェース要素のタブ順序が正しくありません。またチェック・ボックスにフォーカスがありません。
- 14737958、14750088 -- ビュー・デザイナーでは、ページ・エッジまたはセクション・エッジに、数値型の列を含むビューを作成できません。
- 14754719 -- 複数の階層メンバーを含むテーブル・ビューまたはピボット・テーブル・ビューは、ビュー・デザイナーで作成できません。
- 14780195 -- Oracle BI EE ダッシュボードから Smart View にテーブル・ビューをコピーして貼り付けると、分析に静的テキスト・ビューまたはナレーティブ・ビューが含まれる場合に、無効オブジェクト・エラーが発生します。
- 14788102 -- ピボット・テーブルの行エッジのすべての列が非表示になっているときに、ピボット・テーブルを挿入すると、Smart View で障害が発生します。

**回避策:** テーブルとして挿入します。または、列を除外します。

- 15840478 -- BI Answers でフィルタを追加したとき、そのフィルタが、表示される円グラフの数を定義する次元に適用される場合、円グラフがリフレッシュされません。

**回避策:** 変更が発生するフィルタ列が円グラフ数の次元としても定義されている場合は、チャート・ビューのリフレッシュ・オプションを「ビューの置換」に変更してから、再びリフレッシュを実行する必要があります。これによって正常なリフレッシュが行われ、円グラフの数とチャート・タイトルが新しいデータを反映するように更新されます。

手順は、Oracle Hyperion Smart View for Office User's Guide のビューのリフレッシュのプリファレンス指定に関する項を参照してください。

- 15840538 -- BI Answers でフィルタを削除したとき、そのフィルタが、表示される円グラフの数を定義する次元に適用される場合、円グラフがリフレッシュされません。

**回避策:** バグ 15840478 の回避策を参照してください。

- 15886617 -- Smart View が Excel で表示できる桁の精度は、Excel で許可される桁の精度に制限されます。

たとえば、次に示すのは、小数点以下 2 桁の 18 桁のフォーマットです:

```
123456789123456789.12
```

Excel の精度の制限は 15 桁であるため、15 桁を超える桁は Excel では 0 に変更され、次のように表示されます:

```
123456789123456000.00
```

- 15969695 -- PowerPoint にチャートを挿入する際にメモリー・エラーが発生します。

**回避策:** Microsoft Office Service Pack 3 をインストールします。

- 16026143 -- Smart View の Oracle BI EE カタログでは、分析に含まれるビューに階層列がある場合、分析のビューが表示されないことがあります。
- 16218211 -- Oracle BI EE サーバーの接続がタイムアウトになった後でアクションを実行しようとするとき、「AMF バージョンがサポートされません」というメッセージが表示されます。

**回避策:** Office アプリケーションを終了して再起動してから、Oracle BI EE に再接続します。

- 16219221 -- 255 を超えるデータ・ポイントがチャートに含まれると、散布図およびバブル・チャートが正しく表示されません(1 つのデータ・ポイントが 1 つの散布図のポイントまたは 1 つのバブルを表す場合)。

**回避策:** データ・ポイントを 255 に制限してください。

- 16373849 -- 複合ビューから複数のオブジェクトを PowerPoint に挿入して、「one object per slide」オプションを選択すると、各オブジェクトに対して Excel インスタンスが開き、最小化されて Windows タスクバーに表示されます。ただし、挿入操作が完了しても、Excel インスタンスは自動的にクローズされません。このため、多数のオブジェクトを挿入するときにタスクバーが一杯になる可能性があります。

**回避策:** タスクバーに表示される Excel インスタンスの数を最小限に抑えるには、「Office」ボタン(Excel の左上)をクリックし、「Excel のオプション」、「詳細設定」タブの順に選択します。「表示」オプションで「すべてのウィンドウをタスクバーに表示する」チェック・ボックスを選択解除します。

- 16374242 -- チャートを挿入してから Office アプリケーションでチャート・タイプを変更すると、予期できない結果が生じる可能性があります。これは、一

部のチャート・タイプのレンダリングの要件では、他のチャート・タイプが完全に転送されないことがあるためです。たとえば、チャート・タイプを散布図から 3Dバブル・チャートに変更すると、グラフが正しく変更されません。

別のチャート・タイプが必要な場合は、BI Answers でチャート・タイプを変更してから、チャートを再び挿入することをお勧めします。Office アプリケーション内の古いチャートは削除してください。

- 16055532 -- ピボット・チャートが埋め込まれたピボット・テーブルが Smart View に挿入される時、埋め込まれたピボット・チャートはインポートされません。

**回避策:** Excel を使用して、挿入された Excel ピボット・テーブルに基づいてピボット・チャートを作成するか、BI Answers を使用して新しいチャート・ビューを作成し、そのビューを Smart View を使用して挿入します。

- 挿入されたネイティブ Excel ピボット・テーブルに基づいてピボット・チャートを作成するには、次の手順を実行します:
  1. Smart View で Excel ピボット・テーブルをクリックし、Excel の「オプション」リボンを選択します。
  2. 「ツール」グループで「PivotChart」ボタンをクリックします。
  3. 「チャートの挿入」でチャートのスタイルを選択し、「OK」をクリックします。
- 別のチャート・ビューを作成して挿入するには:
  1. BI Answers で、別に新しいチャート・ビュー・オブジェクトを作成します。
  2. Office アプリケーションで Smart View を使用して、新たに作成されたチャート・ビューを挿入します。

どちらの回避策でも、ピボット・チャートがレンダリングされます。

- 16397682 -- 列によってフィルタ処理されたチャートが挿入されたとき、その列がセクション・エッジでも使用されている場合、BI Answers でフィルタのセクションを削除してから元に戻すと、Smart View でリフレッシュしたときにチャートが正しく表示されなくなります。これは予期される動作です。

フィルタが BI Answers で最初に削除される時、残りのチャートは Smart View でリフレッシュ時に正確に表示されます。BI Answers でフィルタが再び追加されてから、Smart View のリフレッシュが実行されると、チャートがシートに再び追加されますが、デフォルトの棒グラフ・フォーマットで表示されます。

これと同じ動作が、チャート・セクションのコピーおよび貼付けを行ってからリフレッシュするときにも発生します。コピーされたチャートは、リフレッシュ後にデフォルトの棒グラフとして表示されます。

**回避策:** Excel のチャート編集ツールを使用してチャートを編集します。ただし、チャート要素によっては他のチャートの要素と見た目が少し異なることがあります。または、すべてのチャート要素が統一されるようにチャート・ビュー全体を再び挿入します。

- 16520355 -- Word および PowerPoint では、複合ビューを挿入するとき、または複合ビューがカタログから挿入されるかコピーして貼り付けられるときに、

テーブルやチャートが重なることがあります。これは、複合ビュー内のオブジェクトが特に大きい場合に顕著です。

- 16616561 -- テーブル・ビューおよびピボット・テーブル・ビューを挿入したとき、セクションだけでなくドリルダウンされた行エッジ上の階層列もそのビューに含まれる場合、エラーが発生します。

**回避策:** BI Answers で、ビューのセクションを削除するか、ドリル操作を元に戻してから、分析を保存し、Smart View に再び挿入します。または、同じ効果を得るために、Oracle Business Intelligence Answers で選択手順とフィルタ処理を分析に適用することもできます。

## Planning

- 6533549、6549255 -- メンバー・セルに要約期間の値を計算する式が含まれている場合、そのセルはロックされる必要がありますが、メンバーのデータが変更された場合は、Smart View によってダーティ・セルとしてマークされることがあります。
- 9414544 -- 共有接続を介して Planning プロバイダに接続している場合、Oracle Hyperion Provider Services を介してサーバーを追加しようとする、「正しいサーバー/URL が入力されており、サーバーが起動し動作していることを確認してください。」というエラー・メッセージが表示されることがあります。これは SSL 証明書の問題です。エンタープライズ SSL のオフロード設定で、Provider Services から Planning への接続は、HTTPS ではなく HTTP である必要があります。
- 11898135 -- Planning 11.1.2.0 をこのリリースの Smart View と組み合わせて使用すると、データ・フォームが開きません。
- 12775474 -- Smart View 以外の他のアドインが Excel で有効になっていると、フォーム(特にサイズの大きいフォーム)を開くのに時間がかかることがあります。これは、他のアドインが無効になっている場合は発生しません。
- 12877317 -- リリース 11.1.2.1 以上の Oracle Hyperion Provider Services を通じて Planning に接続すると、アド・ホック分析、クエリー・デザイナーおよびコピー/貼付け機能が使用できません。

**回避策:** Planning に直接接続します。

- 14521355 -- 下のスクロール・バーの矢印を使用して、ワークシートをスムーズにスクロールできない場合があります。止まったり急に動いたりすることがあります。
- 14805911 -- Smart View パネルの Planning アプリケーションから「ユーザー・プリファレンス」ダイアログ・ボックスを起動するときや Smart View でユーザー変数のメンバーを選択するとき、パフォーマンスが非常に遅くなる場合があります。
- 14834659 -- 代替変数が使用されている場合に、Oracle Hyperion Web Analysis フォームを Smart View で開くと、フォームの最後の列(一番右の列)が削除されるか非表示になります。
- 15919182、16292632 -- Smart View の Oracle Hyperion Planning データ・フォームで POV を変更すると(セル・ドロップダウンを使用して POV を別のメンバー

に変更すると)、現在の POV に入力するデータが、以前に選択した POV メンバーに送信されます。POV が違うという警告メッセージも生成されません。

## Reporting and Analysis

- 6575786 -- Web Analysis レポートの 2 ページを連続してインポートする場合、「リフレッシュ」および「すべてリフレッシュ」が機能しません。

**回避策:** レポートの複数ページをインポートするには、「すべてのページ」を使用します。

- 6908330 -- EPM Workspace が WebSeal の下にあり、かつデフォルト(`http://<server>:<port>/workspace`)以外のコンテキスト・パス(`http://<server>:<port>/<context path>/workspace`)に構成されている場合、Oracle Hyperion Reporting and Analysis ドキュメントは「Workspace ドキュメントのインポート」フォルダ・ツリーに表示されません。
- 7674839 -- Financial Reporting レポートを Smart View にインポートしてリフレッシュすると、Financial Reporting からインポートされたセルを除いて、ワークシートが黒一色になります。

**回避策:** Excel の「ツール」メニューで、「オプション」を選択します。「色」タブで、「リセット」をクリックして「OK」をクリックします。

- 9160243 -- 次の問題が、Smart View から Excel、Word および PowerPoint にイメージとしてインポートされたダッシュボードに含まれます:
  - イメージ・サイズが、EPM Workspace 内のイメージとは異なります。
  - イメージの周囲に余分な背景領域が表示されます。

**回避策:** 場合によっては、使用しやすい大きさにグラフィックをサイズ変更できます。ただし、Microsoft Office の制限のために、余分な背景領域は常に表示されます。

- 12564498、12867625、13875551 -- Internet Explorer から Oracle Hyperion Interactive Reporting レポートを Smart View にエクスポートすると、Smart View のリボンが Excel に表示されません。

**回避策:** Internet Explorer からエクスポートする前に Excel を開きます。

- 14722340 -- Web Analysis または Interactive Reporting に接続しているとき、Word または PowerPoint で「ドキュメント・コンテンツ」機能を使用できません。Web Analysis と Interactive Reporting では Excel での「ドキュメント・コンテンツ」機能しかサポートされません。
- 14800357 -- Financial Reporting、Oracle Hyperion Interactive Reporting または Oracle Hyperion Web Analysis のイメージベースのレポートは、「ドキュメント・コンテンツ」パネルの「削除」オプションを使用して削除できません。

**回避策:** レポートを含むシート全体を削除します。

- 16412491 -- Oracle Hyperion Financial Reporting レポートを Oracle Hyperion Enterprise Performance Management Workspace から「クエリー準備モードでエクスポート」モードを使用してエクスポートすると、Smart View で自動的に

「リPEAT・メンバー」オプションが選択され、繰り返されている列見出しが自動的に抑制されます。レポートをインポートする前に「リPEAT・メンバー」オプションが選択されていなくても、このようになります。

## Strategic Finance

- 13698118 -- 開いているレポートでシナリオを変更すると、変更が反映されるのは選択したレポートのみです。勘定科目ビューまたは開いている他のレポートには反映されません。

**回避策:** 勘定科目ビューでシナリオを変更して、変更内容を開いているすべてのレポートに伝播します。

- 14734597 -- Oracle Hyperion Strategic Finance エンティティを Smart View で開くと、エンティティがロードされているときにシートが上下に分割されます。エンティティのロードが完了すると、分割は解除されます。ワークシートをスクロールしてエンティティが再表示されるときに、いったん分割表示になってから解除されます。

## ヒントとトラブルシューティング

- 16073739 -- デフォルトの Oracle Access Manager ログイン・フォームのかわりに html ベースのカスタム・ログイン・ホームを使用している場合、カスタム・フォームのソースに文字列 loginform が含まれることを確認します。これは、Smart View と Oracle Access Manager の統合が機能するために必要です。
- 16067660 -- Oracle Essbase Spreadsheet Add-in 11.1.1.3 または 11.1.1.3.500 と Smart View 11.1.1.3.500 の両方がインストールされているマシンでは、マクロを含みパスワードで保護されているスプレッドシート・ファイルを開いたり閉じたりしようとするときに、パスワードの入力を求められます。

**回避策:** Smart View の 11.1.2.3 リリースにアップグレードします。

# ドキュメントの更新事項

## サブトピック

- EPM System 製品ドキュメントへのアクセス
- PDF からのコード・スニペットのコピーと貼付け
- Smart View 開発者ガイド
- リフレッシュ可能なコンテンツ
- セルのスタイルの説明
- チャートのコピーと貼付けに関するサポートの制限
- 共有接続 XML ファイルの HTTP オプションを使用する際のブラウザの設定
- 「拡張機能」トピックで省略されている新規 Planning Extension
- Smart View での検索に関する項の訂正

## EPM System 製品ドキュメントへのアクセス

各 EPM System 製品ガイドの最新版は、OTN Web サイトの EPM System Documentation 領域(<http://www.oracle.com/technology/documentation/epm.html>)でダウンロードまたは参照できます。また、EPM System Documentation Portal (<http://www.oracle.com/us/solutions/ent-performance-bi/technical-information-147174.html>)を使用することもでき、ここには EPM Supported Platform Matrices、My Oracle Support およびその他の情報リソースへのリンクも含まれています。

配置関連のドキュメントは、Oracle Software Delivery Cloud Web サイト([http://edelivery.oracle.com/EPD/WelcomePage/get\\_form](http://edelivery.oracle.com/EPD/WelcomePage/get_form))からも入手できます。

個々の製品ガイドは、Oracle Technology Network Web サイトからのみダウンロードできます。

## PDF からのコード・スニペットのコピーと貼付け

PDF ファイルからコード・スニペットを切り取って貼り付ける際、貼付け操作時に一部の文字が失われる場合があります、これによりコード・スニペットが無効になります。

**回避策:** HTML バージョンのドキュメントから切り取って貼り付けます。

## Smart View 開発者ガイド

リリース 11.1.2.2.310 以降、Microsoft Visual Basic for Applications (VBA)関数の情報は、新しい Oracle Hyperion Smart View for Office 開発者ガイドに含まれています。VBA 関数は、Oracle Hyperion Smart View for Office User's Guide には含まれなくなりました。

Microsoft Excel の Visual Basic Editor では、Smart View の一般的なタスクを VBA 関数を使用してカスタマイズし自動化することができます。

Oracle Hyperion Smart View for Office 開発者ガイドは、Oracle Technology Network (OTN)の Smart View ライブラリで入手できます。

## リフレッシュ可能なコンテンツ

16374057 -- 次の Smart View コンテンツは、Smart View のリボンの「コピー」ボタンと「貼付け」ボタンを使用してコピーして貼り付けてから、Smart View の「リフレッシュ」を使用してリフレッシュすることができます:

- アド・ホック – 適用対象のすべてのプロバイダ
- 関数 – 適用対象のすべてのプロバイダ
- Oracle BI EE のテーブル

Excel ピボット・テーブルのコンテンツを含め、Smart View の他のコンテンツは、静的テキストとして貼り付けられます。

## セルのスタイルの説明

16233803 -- Oracle Hyperion Smart View for Office では、プロパティごとに1つしかスタイルを設定できません。

たとえば、親メンバーについて背景スタイルまたはフォント・スタイルを設定できますが、親メンバーの背景とフォントの両方のスタイルを設定することはできません。

## チャートのコピーと貼付けに関するサポートの制限

16451759 -- チャートのコピーと貼付けがサポートされているのは、Oracle Business Intelligence Enterprise Edition のチャートのみです。他のプロバイダ(Oracle Hyperion Financial Management など)に基づくチャートは正しく貼り付けられません。

## 共有接続 XML ファイルの HTTP オプションを使用する際のブラウザの設定

16231447 -- HTTP サーバーにある XML ファイルから共有接続にアクセスする予定がある場合は、このトピックの手順を実行します。

Smart View の「オプション」ダイアログ・ボックスの「共有接続 URL」フィールドで、データ・ソース XML ファイルを指す URL を正しく使用するために、Internet Explorer で次のオプションを設定することをお勧めします:

1. 「ツール」、「インターネット オプション」を選択します。
2. 「全般」タブの「閲覧の履歴」グループで「設定」を選択します。
3. 「保存しているページの新しいバージョンがあるかどうかの確認」セクションで「Web サイトを表示するたびに確認する」を選択して、「OK」をクリックします。
4. 「インターネット オプション」ダイアログ・ボックスで「詳細設定」タブを選択します。

5. 「セキュリティ」セクションで「ブラウザを閉じたとき、[Temporary Internet Files] フォルダを空にする」オプションを選択します。
6. 「OK」をクリックして「インターネットオプション」を閉じ、ブラウザを再起動します。

## 「拡張機能」トピックで省略されている新規 Planning Extension

新しい Planning Admin Extension for Smart View を使用して、Oracle Hyperion Planning 管理ユーザーが Smart View にメタデータをインポートして操作することができます。この拡張機能は、Oracle Hyperion Smart View for Office User's Guide の拡張機能に関する項から誤って省かれました。Planning Admin Extension は、Oracle Hyperion Planning Administrator's Guide に記載されています。

## Smart View での検索に関する項の訂正

16558587 -- Oracle Hyperion Smart View for Office User's Guide の Smart View での検索に関する項で、\*と?の説明が不明確です。

正しいトピック・テキストは次のとおりです:

Essbase では、アスタリスク(\*)または疑問符(?)をワイルド・カードとして使用します。

## ドキュメントのフィードバック

製品のドキュメントに対するフィードバックを次の電子メール・アドレスに送信してください:

EPMdoc\_ww@oracle.com

次のソーシャル・メディア・サイトの EPM Information Development をフォローしてください:

- YouTube - <http://www.youtube.com/user/OracleEPMWebcasts>
- Google+ - <https://plus.google.com/106915048672979407731>
- Twitter - <https://twitter.com/HyperionEPMInfo>
- Facebook - <https://www.facebook.com/pages/Hyperion-EPM-Info/102682103112642>
- Linked In - [http://www.linkedin.com/groups?home=&gid=3127051&trk=anet\\_ug\\_hm](http://www.linkedin.com/groups?home=&gid=3127051&trk=anet_ug_hm)

## アクセシビリティの考慮事項

オラクル社は、障害のあるお客様にもオラクル社の製品、サービスおよびサポート・ドキュメントを簡単にご利用いただけることを目標としています。EPM System 製品でサポートしているアクセシビリティ機能は、製品のアクセシビリティ・ガ

イドを参照してください。このガイドの最新版は、Oracle Technology Network の Oracle Enterprise Performance Management System Documentation Library (<http://www.oracle.com/technology/documentation/epm.html>)で入手できます。

また、この Readme ファイルは HTML 形式で提供され、アクセシビリティ機能がサポートされます。

## 著作権情報

Smart View Readme, 11.1.2.3.000

Copyright © 2004, 2013, Oracle and/or its affiliates. All rights reserved.

著者: EPM 情報開発チーム

Oracle および Java は Oracle Corporation およびその関連企業の登録商標です。その他の名称は、それぞれの所有者の商標または登録商標です。

このソフトウェアおよび関連ドキュメントの使用と開示は、ライセンス契約の制約条件に従うものとし、知的財産に関する法律により保護されています。ライセンス契約で明示的に許諾されている場合もしくは法律によって認められている場合を除き、形式、手段に関係なく、いかなる部分も使用、複写、複製、翻訳、放送、修正、ライセンス供与、送信、配布、発表、実行、公開または表示することはできません。このソフトウェアのリバース・エンジニアリング、逆アセンブル、逆コンパイルは互換性のために法律によって規定されている場合を除き、禁止されています。

ここに記載された情報は予告なしに変更される場合があります。また、誤りが無いことの保証はいたしかねます。誤りを見つけた場合は、オラクル社までご連絡ください。

このソフトウェアまたは関連ドキュメントを、米国政府機関もしくは米国政府機関に代わってこのソフトウェアまたは関連ドキュメントをライセンスされた者に提供する場合は、次の通知が適用されます。

### U.S. GOVERNMENT RIGHTS:

Programs, software, databases, and related documentation and technical data delivered to U.S. Government customers are "commercial computer software" or "commercial technical data" pursuant to the applicable Federal Acquisition Regulation and agency-specific supplemental regulations. As such, the use, duplication, disclosure, modification, and adaptation shall be subject to the restrictions and license terms set forth in the applicable Government contract, and, to the extent applicable by the terms of the Government contract, the additional rights set forth in FAR 52.227-19, Commercial Computer Software License (December 2007). Oracle America, Inc., 500 Oracle Parkway, Redwood City, CA 94065.

このソフトウェアもしくはハードウェアは様々な情報管理アプリケーションでの一般的な使用のために開発されたものです。このソフトウェアもしくはハードウェアは、危険が伴うアプリケーション（人的傷害を発生させる可能性があるアプリケーションを含む）への用途を目的として開発されていません。このソフトウェアもしくはハードウェアを危険が伴うアプリケーションで使用する際、安全に使用するために、適切な安全装置、バックアップ、冗長性（redundancy）、その他の対策を講じることは使用者の責任となります。このソフトウェアもしくはハードウェアを危険が伴うアプリケーションで使用したことに起因して損害が発生しても、オラクル社およびその関連会社は一切の責任を負いかねます。

このソフトウェアまたはハードウェア、そしてドキュメントは、第三者のコンテンツ、製品、サービスへのアクセス、あるいはそれらに関する情報を提供することがあります。オラクル社およびその関連会社は、第三者のコンテンツ、製品、サービスに関して一切の責任を負わず、いかなる保証もいたしません。オラクル社およびその関連会社は、第三者のコンテンツ、製品、サービスへのアクセスまたは使用によって損失、費用、あるいは損害が発生しても一切の責任を負いかねます。